

第4章 基本方針

方針1. 矢部川流域の絵になる景観の形成

矢部川流域では、河川や山並みの豊かな自然地形、人々の営みがつくり出す田畑などの田園と、家並みや橋梁などの建造物群が組み合わさり、創り出される独特の「絵になる景観」が存在します。「絵になる景観」には、眺望景観、営みの景観、自然景観などがあります。

絵になる眺望景観は、山頂から広大な平野やまちを俯瞰できたり、見晴らしの良い視点場から遠方の山並みなどが見通せたりできることによって望める景観です。つまり、視点場とその周辺環境の条件が整ってはじめて望むことができる景観です。観光客などの外来者はその地域の全体像を把握することに役立ち、視点場は観光名所ともなり得ます。

絵になる営みの景観や自然景観は、人々の永年の営みの蓄積や、日常の生活景として育まれた景観です。そこに住む人々の営みや文化が創り出したまちなみや構造物と地域の果樹や樹木、背景にある山並みとの組み合わせが、地域固有の絵になる景観を創り出しています。

そうした絵になる景観の保全・整備のためには、背景となる自然や田園の保全、まちなみや構造物の保全・整備、景観を望める視点場の確保とその周辺環境の保全・整備が欠かせません。

地域の共有財産としての眺望景観や営みの景観などの「絵になる景観」を次の世代へと継承していきます。

代表的な絵になる景観



筑後景観コンテスト選考委員特別賞受賞作品「深山の春」



久留米出身の画家・森三美が描いた「筑後風景」

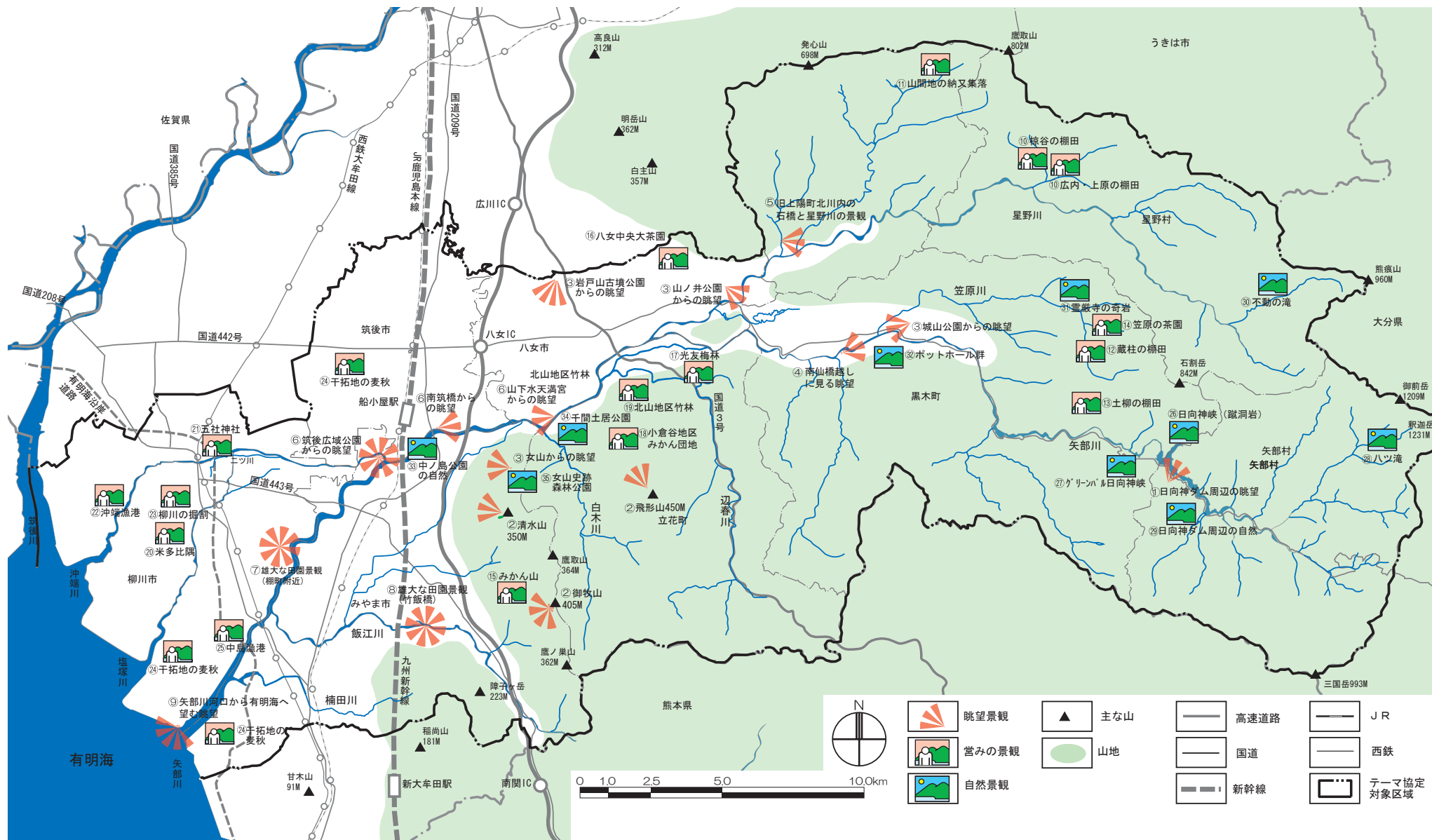
出典：石橋美術館「青木繁・坂本繁二郎生誕120年記念筑後洋画の系譜」2002



久留米出身の画家・古賀春江が描いた「柳河風景」

出典：石橋美術館「青木繁・坂本繁二郎生誕120年記念筑後洋画の系譜」2002

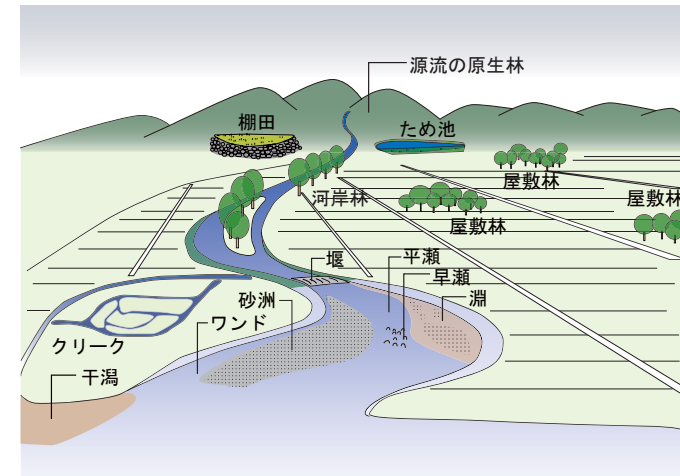
協働して守り育てる「絵になる景観」



方針2. 水環境や水の循環と密接に関わる景観の形成

河川と共に、永年に渡って築かれてきた農業用水路やクリーク・堀割等の水路は、相互に複雑につながることによって、一つの大きな水のネットワークを形成し、古くから人々の生活の基盤を支える利水システムとして、日常の給水、排水、物流、防災等の様々な機能を担ってきました。水のネットワークは、流域の潤いのある景観を日々支えているとともに、様々な動植物の生息地としての役割を果たし、かけがえのない生態系環境を支えてきました。

そこで、矢部川とその支流である星野川、飯江川、田代川、辺春川、白木川、沖端川、塩塚川等の河川や用水路、クリーク・堀割を含めた流域全体の水環境に関わる景観を保全・育成していくことで、矢部川流域の水のネットワークが持つ循環機能およびそこに生息する生態系を保全していきます。



矢部川流域には水のネットワークが形成され、原生林、棚田、ため池、周辺の屋敷林、干潟や河川内の瀬、淵等には多様な動植物が生息する生態系が育まれている。



多くの生物が生息する中の島公園の楠林



釈迦岳御前岳の原生林に生息するオオキツネノカミソリの群落



多様な動植物が生息している沖端川ニツ川堰下流

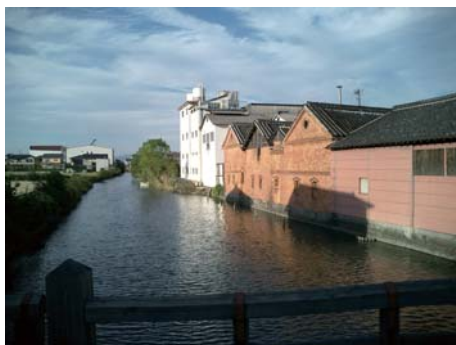
方針3. まちなみと歴史的景観の形成

矢部川流域は、古代の早い時期から繁栄し、上流部の山地、中流平野部の田園、下流の干拓地では、矢部川の水運、利水を活かした文化や伝統産業が発達してきました。八女市福島地区や黒木町では伝統的なまちなみが形成され、柳川の堀割や有馬藩と立花藩の水争いの中で築造されてきた井堰・廻水路や千間土居の「水はね」、八女市上陽町の石橋群など歴史的な土木構

造物が数多く残されています。また、矢部川の水利により、手すき和紙、酒造、染色などの伝統産業も盛んに営まれてきました。

矢部川流域に培われてきた歴史的価値を再評価し、多くの人々に親しまれてきたまちなみや集落、歴史的な構造物、樹木等が作り出す魅力的な景観の形成を図ります。

代表的な歴史的景観



柳川の堀割沿いに建つ並倉のレンガ倉庫



八女福島 of 歴史的町並み



星野川に架かる宮ヶ原橋（四連石橋）



山間部の閑静な佇まいの八女納又集落

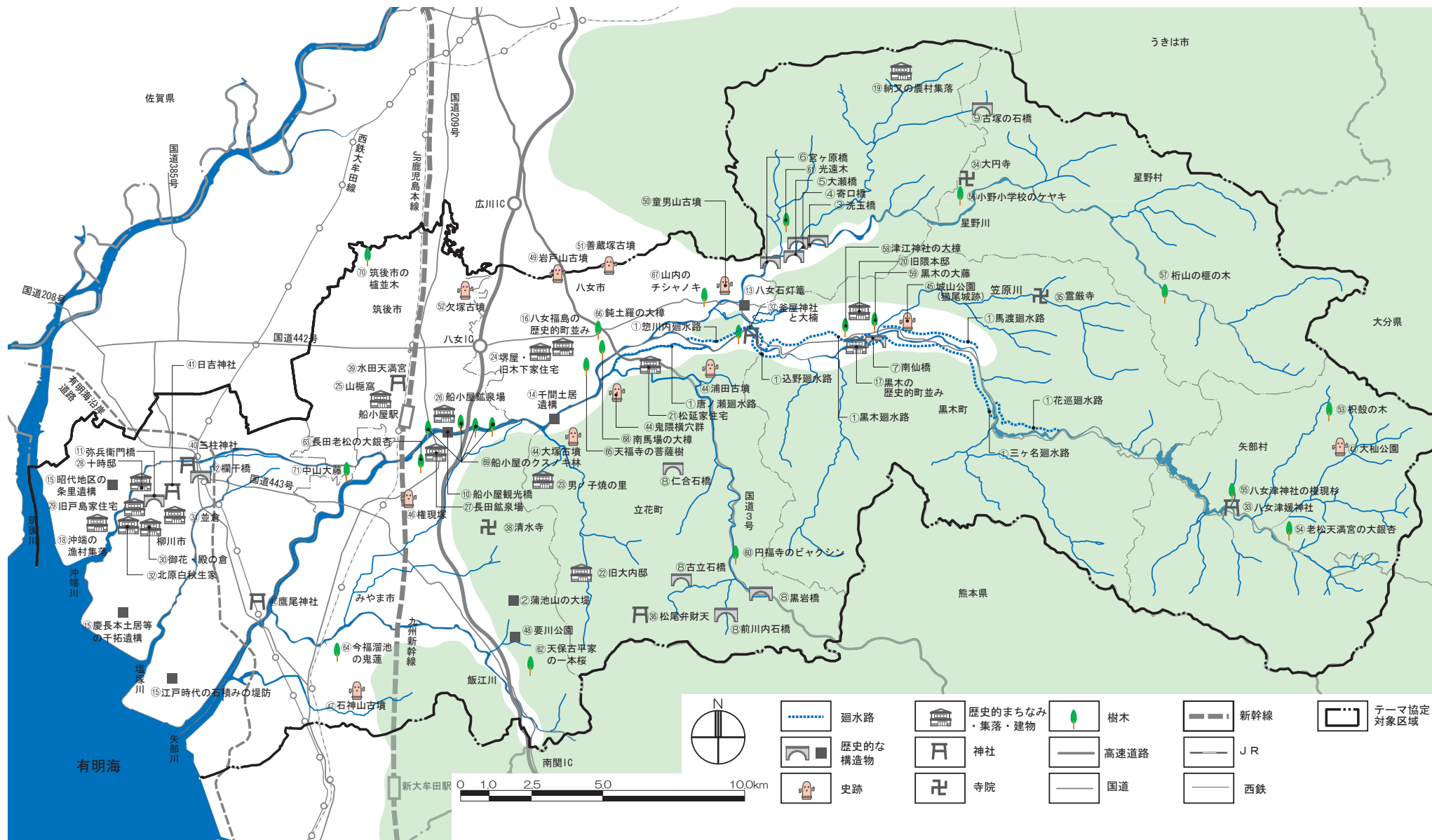


歴史的建造物が数多く残る清水寺周辺



かつては大陸との交流があった沖端漁港

協働して守り育てる「まちなみと歴史的景観」



方針4. 四季や時間による変化を楽しむ景観の形成

田植えを営む棚田、初夏の麦秋が広がる田園地帯、ホタルやトンボが飛び交う河畔、彼岸花とススキで彩られる山間部の田畑、奥地の雪渓など、矢部川流域の各地では季節の変化とともに現れる特徴的な景観を見ることができます。

自然の恵みを享受してきた矢部川流域の各地では、風流や祇園など、五穀豊穡、水難・海難を祈願する神幸行事や祭りが数多く催されてきました。加えて、最近では、花火大会など季節の風物詩となっているイベントも行われ、季節の節目を飾っています。

更に、朝日とともに漁へ向かう船団の景観、水面に映える夕景、きらびやかな星空と月など、1日の時間の変化と共に趣を変える多彩な景観を矢部川流域では数多く見ることもできます。

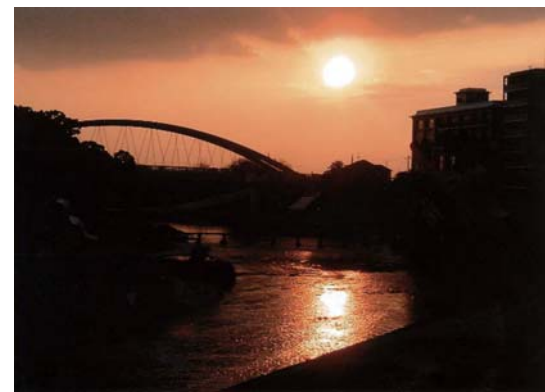
こうした季節の変化に応じた四季折々の景観や、時間の変化による多彩で豊かな景観を、流域全体で保全・育成していきます。



春に行われる星野村の棚田の田植え風景



夕暮れの矢部川沿いの桜並木(みやま市瀬高町)



夕日が矢部川の水面に映える景観

